

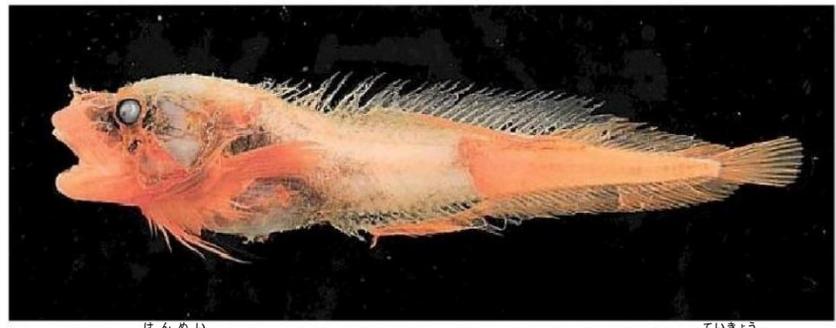
駿河湾に深海魚の新種

東海大海洋学部（静岡市清水区）は30日、福井篤教授（60）＝水産学科＝らの研究グループが、駿河湾でクサウオ科の深海魚の新種を発見したと発表した。採集場所にちなんで「スルガビクニン」と命名し、このほ

ど、論文が日本魚類学会の学会誌オンライン版に掲載された。2015年に実施した深海底近くの定期調査で、同区の三保灯台から約10キロ離れた駿河湾北部、水深1450～1570メートルの地点で採集した。体長は82・6ミリ。歯の形や、淡いオレンジ色の体などが従来、確認されている種と異なるという。

同大によると、深海海底近くの採集は難しく、体系的な調査が十分に行われて

東海大海洋学部「スルガビクニン」と命名



新種と判明した「スルガビクニン」（福井篤研究室提供）

いないという。福井教授は「キャンパスから約10キロと人間の生活圏から比較的、近い海で新種が見つかることは珍しい。駿河湾はまだまだ未開の海だ」とコメントした。

2017年12月1日 朝刊

- ①深海魚の新種は、何という名前に命名されましたか。
[]
- ②この魚は、どのくらいの深さで採取されましたか。
[]
- ③人の生活圏の近くで、今まで見つからなかったのは、どうしてでしょう。
[]

年 組 名前

（小学校高学年・中学生 理科・総合）